



ごらい光 平成30年1月号

発行責任者
丸新志鷹建設(株)
広報チーム
第237号

謹賀新年



あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いたします



「年頭のごあいさつ」



代表取締役社長 志鷹 新樹

平成30年の新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

社員の皆様方には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃より社業の発展のためご努力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年の建設業界を顧みますと、公共工事設計労務単価の6年連続の引き上げや、積算基準の改定など明るい材料もありましたが、県内の公共事業の発注額は、平成29年度上半期が前年同期比で二割近くの大落込みとなり、下半期に入ってもあまり変化がないことから、今年度末までの、さらには来年度早々の仕事量の確保について危惧しているところです。また、国の予算配分の偏りからくる事業量の地域間格差が拡大化しており、災害や除雪等への対応が難しくなっています。私も、建設業協会などを通じて国・県・市町村に対し、補正予算の早期編成と、今年度当初を上回る平成30年度公共事業予算の確保についてお願いをしているところです。

法施工後3年が経過した改正品確法は、国・県においては運用指針が浸透して適正な利潤を得られる環境が整いつつありますが、市町村への浸透は難しく、国・県からの指導をお願いしているところです。

当社におきましては、国内での土木建築工事の受注は減少傾向にありますが、改正品格法の趣旨にのっとり、発注者との意思疎通を図り、適正な価格で適正な利潤が得られるようにして欲しいと思います。また、工事における評価点を上げることは、受注量の確保にもつながる重要な因子です。そのため、ITC技術やASPの活用、週休二日制の定着に向けて挑戦しなければならないと感じています。

ペレット部門では吉峰でのボヤの影響もありましたが、一般家庭への普及で持ち直しており、環境にやさしい燃料として普及拡大を図っていきたいと思います。

また、ネパール、ブータンでの仕事は順調に進んでおり、RJKIPメインカナルは今年6月まで、モダナイゼーションは終了しメンテナンス期間に入る予定です。地震復興の仕事はADBの案件によりオカルデゥンガ郡で始まっています。ブータンのブンツォリン市ナバ地区斜面崩壊対策工事については、「短期間にいい仕事をしてもらった」と市長からのお褒めの言葉も頂きました。その他、ミニドライポート建設工事、ノーザンバイパス工事、首都ティンブーの都市開発工事などは、順調に進んでおり、新たな工事の受注に向けての準備も進められております。

建設産業の存在意義は、地域住民の生命と暮らしを守る尊い業務にあると思います。それを実現するのは我々建設業に従事する一人一人なのです。一方、会社は経済的自立ができなければ存在出来ません。言い換えれば、会社が存在してこそ、社会貢献できるのです。しっかりと原価管理を行い、良い品物を適正価格でお渡しできるよう、皆様と一緒に働きたいと思います。



最後に、皆様方のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



「年頭ごあいさつ」

常務 穴口 義記

丸新志鷹建設の従業員の皆様方、輝かしい新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。昨年中は当社の業務に精励され、本当にありがとうございました。

昨年は、国内においての公共および民間からの大小、多岐にわたる工事の受注をすることができました。その中で、工事を施工される職員の皆様も一年を通して忙しい思いをされたことと思います。今後、地域業界自体の漸減により、今まで当社があまり受注しないような小さな工事や、施工経験の無い地域の工事が増えていくと考えられます。特に、昨年は県土木の小規模工事が多く、それらを丁寧に施工してくれたおかげで、主要工事の収益減少分を補填することができ、それらに携わってこられた方々に感謝します。

海外においては、昨年、ネパールで地震復興関連のオカルドゥンガの15校の学校建設工事を春先に受注し、施工中です。また、ブータンにおいてはブンツォリンで2件の工事を受注できました。カトマンズ支店および、ブータン事務所スタッフの努力に感謝申し上げます。

今年以降の見通しも、国内の受注については雑穀谷砂防が再開され、順調に推移していくと思われます。また、国外ではネパールで建築、土木各1件の受注が期待されています。

つぎに、一昨年から働き方改革や若手技術者採用のための魅力ある会社作りを検討してきた中で、完全週休二日制を昨年4月から実施しました。その結果、昨年には若手職員1名を中途で採用し、さらに、新卒者2名を今年4月から採用することになりました。しかしながら、昨年中は発注者からの契約工期を遵守するために土曜日出勤を余儀なくされました。今後は皆様の工夫を凝らして、効率のよい作業に努めて土曜出勤を減らし、誰もが働きたくなる会社を目指していきたいと考えています。そして、それらを推し進めるためには従業員皆様のなお一層の協力と努力が必要となりますので、何卒宜しくお願致します。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念しまして新年のごあいさつとさせていただきます。

GENBA

工事名 立山有料道路防災改築ロックシェッド工工事
 発注者 富山県道路公社
 工事担当 久保伸一郎

平成27年から西村さんが下部工の施工に入り、その後平成28年から私が引き継いだロックシェッドの新設工事でした。夜間工事での上部架設を経て、繁忙期前までに舗装を完了させ、無事故無災害での工事完成となりました。

着手前（起点側より望む）



着手前（終点側より望む）



上部架設状況



完成（起点側より望む）



完成（終点側より望む）



総務部からのおしらせ

年賀式について

日時：1月5日（金）
 午前8時
 場所：志鷹会館 3階

なるべく社員全員の出席をお願いします。

会社新年会について

日時：1月12日（金）
 午後6時
 場所：高志会館

●バス送迎ルート●

（ゆき）本社→宮路→上滝駅→大阪屋立山店付近→建築部→蔵本新セブンイレブン→中川原コジマ電機→天正寺ローソン→高志会館

（かえり）高志会館→天正寺→中川原→蔵本新→前沢→上滝駅→岩嶺寺→芦嶺寺



自宅の除雪や、屋根の雪下ろしをするときは十分気を付けてください。

軒下は落雪、雪下ろしは転落の危険性があります。

周りに注意をはらい、無理な作業は行わず、連休中も安全に過ごしましょう。



1月行事予定

- 5日 平成30年 年賀式
- 12日 会社新年会
- 19日 全体会議



随時 社内安全パトロール

中新川郡公共土木事業協議会優秀賞受賞

平成28年度に施工した真川大橋床版補強第一工区工事（工事担当:嘉藤拓弥）が、優秀賞に選ばれました。

これからも、安全で品質の高い施工を心がけ、依頼主から信頼をいただけるものを提供していきましょう。



10月24日～12月22日まで、富士教育訓練センターへ弊社から参加していた、志鷹飛呂さんの研修が終了しました。

2ヶ月間の長い研修、お疲れ様でした！



・富士教育訓練センターでの研修を終えて 志鷹 飛呂

10月から参加していた富士教育訓練センターでの研修が無事終了しました。

2ヶ月間という長期の研修期間に加え、初対面の訓練生との生活に最初は不安もありましたが、朝礼やグループ活動を通じて皆とすぐに打ち解けることができました。

重機の操作や型枠の組み立てなど、初体験の事ばかりでしたが、良い仲間と出会い、共に競い、励ましあい、この研修を通して、土木の技術のみならず、社会人としてのマナーや仲間の大切さ、安全に対する意識、現場監督としての心構えなど、様々なことを学びました。

この経験を今後の業務で生かすとともに、後に伝えることができるよう、日々努力していきたいと思えます。

今回このような研修参加の機会を与えてくださり、ありがとうございました。

平成29年11月より、経営理念・経営方針・行動指針を、よりわかりやすいものに変更しました。

本年もこの志を忘れず、社員一同尽力致します。

経営理念

- ・地域の安全・安心を支える企業であること
- ・地域発展の礎を支える企業であること
- ・地球環境を守る企業であること
- ・南アジアの発展に貢献する企業であること

経営方針

- ・誇りと使命感を持って、社会に貢献する
- ・発注者に満足いただける高品質のものを提供する
- ・快適で意欲を持てる職場を作り、従業員の幸福な家庭作りを支援する
- ・革新的姿勢で業務にあたり、適正利潤の確保で会社の繁栄を図る

行動指針

- ・誠実を第一とし、意欲を持って取り組む
- ・常に研鑽を重ね、技術の向上を図る
- ・常に協調の精神を持ち、協力し合い助け合うこと